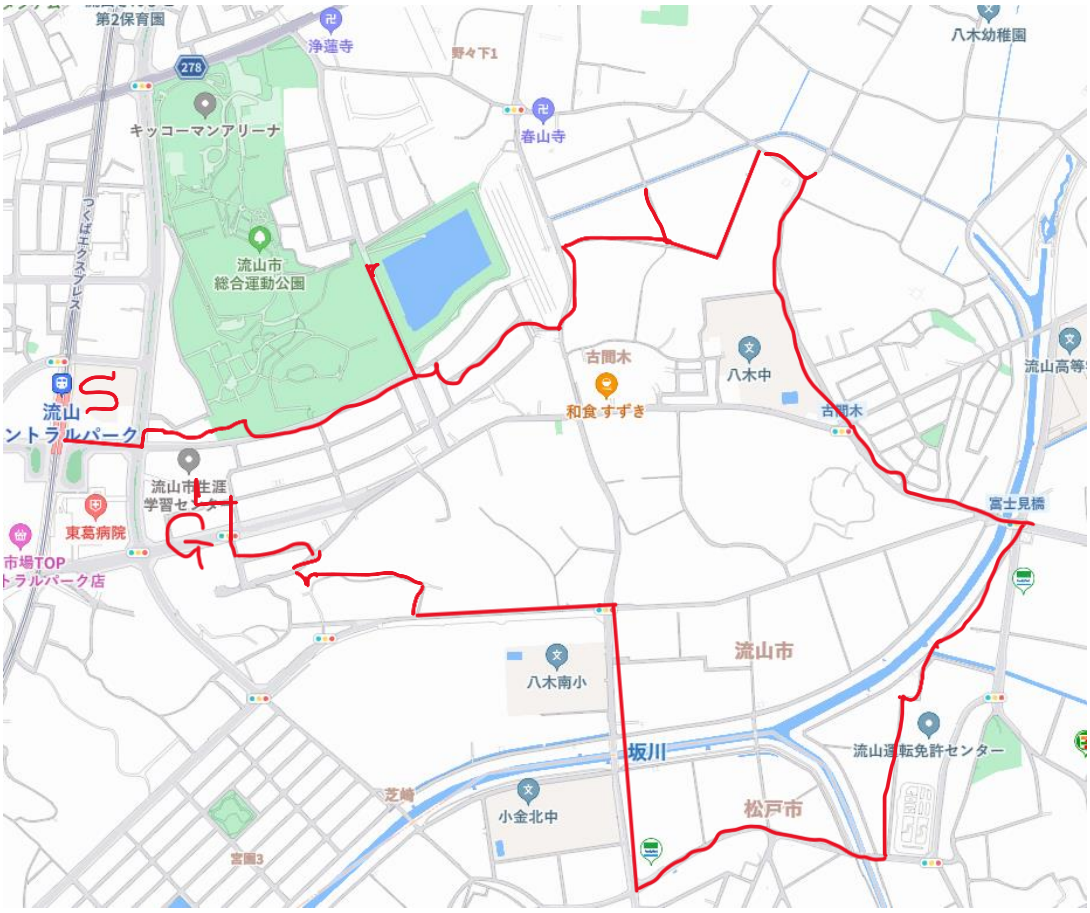
流山市立博物館友の会主催

八木郷古間木 湧水地帯跡を歩く

２０２５年５月１３日（火）小雨実施　　歩く距離 ４ｋｍ強
集　合：つくばTX流山セントラルパーク駅改札口９時
コース：市野谷３号幹線（雨水）と１号幹線合流点→旧東栄寺墓地→文化元年馬頭観音→（トイレ；バーベキュー広場）→古間木調整池→市野谷１号幹線と４号幹線合流点→古間木湧水地帯跡→市野谷１号幹線開放水路→坂川富士見橋→（トイレ；免許センター）→富士川３号橋→松戸幸田湧水→坂川八木之橋→芝崎斜面林下の小路→文政六年新四国七拾番円徳寺石碑→生涯学習センターで１２時頃解散
講　師：新保國弘　（申込先　kuni-shin@sound.ocn.ne.jp　090-2213-4722　締切 5/9）
会　費：会員５００円、一般８００円

戦国時代まであった下総国葛飾郡八木郷（現在の流山市南部一帯）の水田地帯は、洪積台地湧水地帯と位置づけられ、低地と台地の比高差１５～２０ｍの深い長谷津を形成していました。芝崎、前平井、後平井、思井、古間木・中の各村から成る八木郷では、天正２０年（１５９２）に太閤検地が行われ、台地に近接した谷津田は、湧水や絞り水が水量豊富で排水も良好、早くから水田稲作が行われていたと報告されています。

講師は 2006 年 4 月、湧水調査専門家の掘田和弘氏（当時元千葉敬愛短期大学学長）に指導を仰ぎ、流山市内２３ヶ所の湧水の水質調査を実施。結果、八木中学校裏の湧水（シルト層の根だれ）が市内で最も良質の湧水であることを知りました。

当日は、市野谷の森や周辺に降った雨水が坂川に注ぐ「市野谷幹線」も訪ねます。